



飲料業界

『社会課題対応研究会』



■研究会の概要 - 発足背景



飲料業界における社会課題の解決に向け、
5社が協働することで、個社個別の活動を加速させる

Asahi

伊藤園

よろこびがつなぐ世界へ
KIRIN

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

SUNTORY
SUNTORY BEVERAGE & FOOD

物流2024年問題



GHG排出量削減



食品ロス問題





■新たな取り組みの検討内容

「物流2024年問題」課題対応の活動と並行して、
「GHG排出量削減」「食品ロス」などの社会課題に対応していくべく、
当研究会で今後検討すべきテーマについて議論を実施

物流2024年問題

GHG排出量削減

食品ロス問題

プラ削減

物流2024年問題

1年目（これまで）

「物流2024年問題」を中心に
検討・活動

2年目以降（これから）

「物流」に加え「GHG排出」「食品ロス」で
新たなテーマを選定
具体的な検討を開始するステージへ

清涼飲料のサプライチェーンの特徴

- ・商品ジャンルが多岐に渡り、SKUも多い。
- ・エリア毎の販売予測が難しい（特に新製品）

エリア毎に製造ロット偏在が起こりやすく、**日付逆転**や廃棄が起きないように日々チェックし、必要に応じて輸送している

5社計で、**1日大型トラック100台の日付合わせの輸送**をしている

年間では約**30**千台に相当。物流2024年問題による車両不足や今後の配送に影響を及ぼすことも懸念される



■新たな取り組みの検討内容

「物流」からさらに視野を広げ、「容器包装」等についても検討テーマを選定

検討テーマ	対応する社会課題
1. 更なる物流負荷改善	物流2024年問題
2. 納品時賞味期限の緩和（製造ロットの逆転）	物流2024年問題 食品ロス問題
3. ペットボトル・キャップの軽量化	GHG排出量削減 プラ削減
4. 容器包装資材の効率化	GHG排出量削減
5. サプライヤー企業との再エネ利用の促進	GHG排出量削減



■新たな取り組みの検討内容

2. 納品時賞味期限の緩和（製造ロットの逆転※）

※納品時に賞味期限内で製造ロットの逆転が起きること

意味合い 期待効果

賞味期間の長さに応じて現行の納品ルールを緩和いただくことで、「製造ロット適合のために行っている輸送」や、「店頭に並ぶ前の段階で起きている食品ロス」の削減に繋げる

検討・実施 項目

- ・ 省庁や異業種の物流研究会との情報交換や協議
- ・ 賞味期限に関する消費者意識WEB調査
- ・ 活動主旨に賛同いただいた流通企業様での納品時の製造ロット逆転の運用テスト



■新たな取り組みの検討内容

2. 納品時賞味期限の緩和（製造ロットの逆転）

- ◇流通様での運用テスト・店頭調査に先んじて、賞味期限に関する消費者意識WEB調査の実施

<WEB調査の内容>

- I.購入するときに、賞味期限/消費期限を気にしている人の割合
- II.購入するときに、賞味期限/消費期限を「とても」気にしている人の割合
- III.ペットボトル飲料の賞味期限の日付逆転が購買行動に与える影響

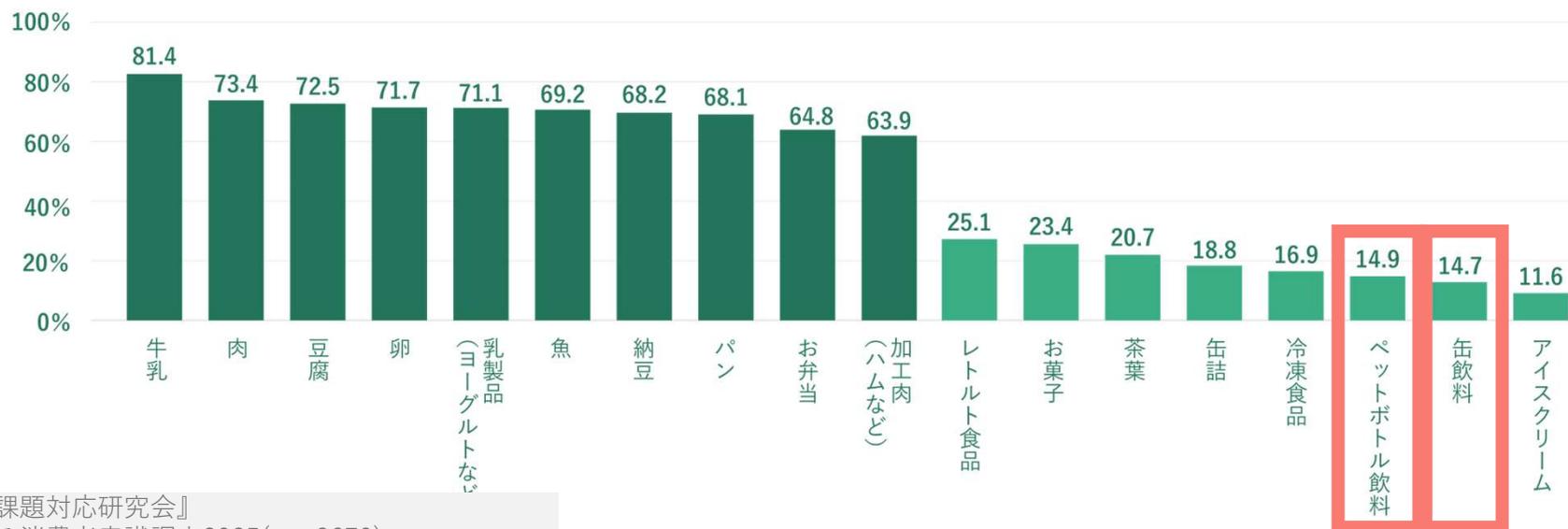


■新たな取り組みの検討内容

2. 納品時賞味期限の緩和（製造ロットの逆転）

1. 購入するときに、賞味期限/消費期限を気にしている人の割合

- ・主に日配品と加工食品で、気にしている人の割合は大きく分かれている
- ・ペットボトル飲料と缶飲料は、賞味期限表示が無いアイスクリームに次いで気にしている人の割合が少ない



飲料業界『社会課題対応研究会』
賞味期限に関する消費者意識調査2025(n=2670)

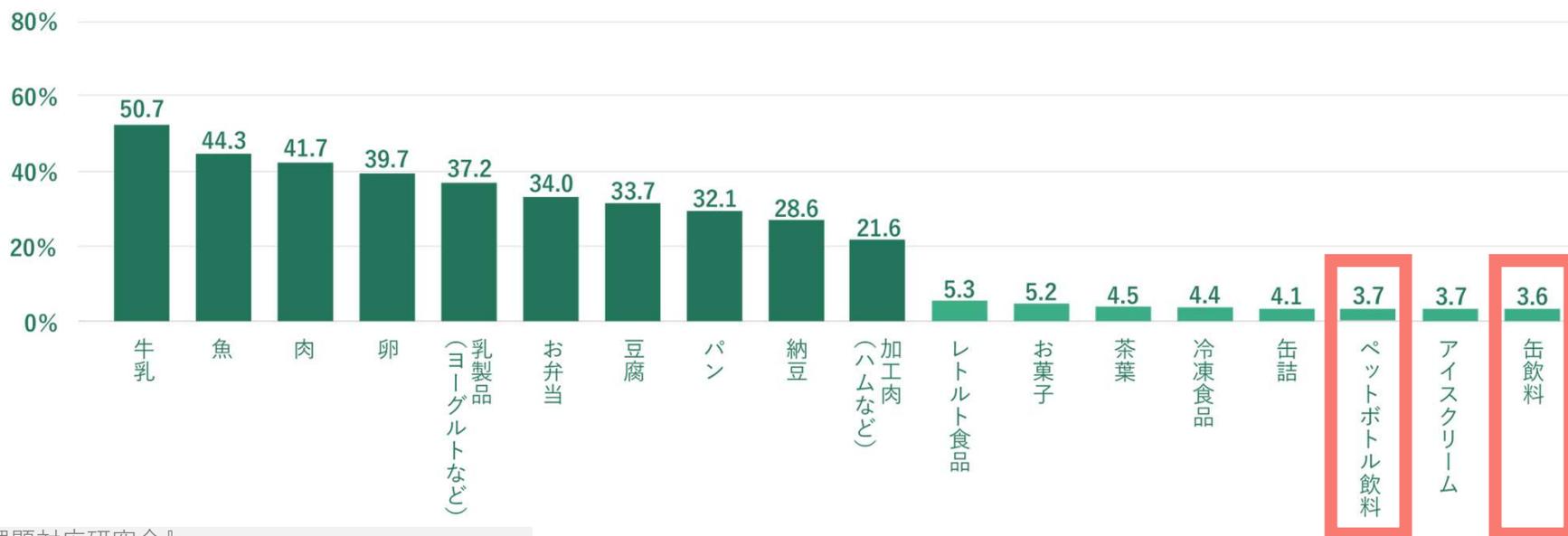


■新たな取り組みの検討内容

2. 納品時賞味期限の緩和（製造ロットの逆転）

II. 購入するときに、賞味期限/消費期限を「とても」気にしている人の割合（5段階評価のトップスコア）

- ・「とても」気にしている人の割合となると、賞味期間の長いカテゴリーは1割未満に
- ・ペットボトル飲料と缶飲料は、賞味期限表示が無いアイスクリームと同等



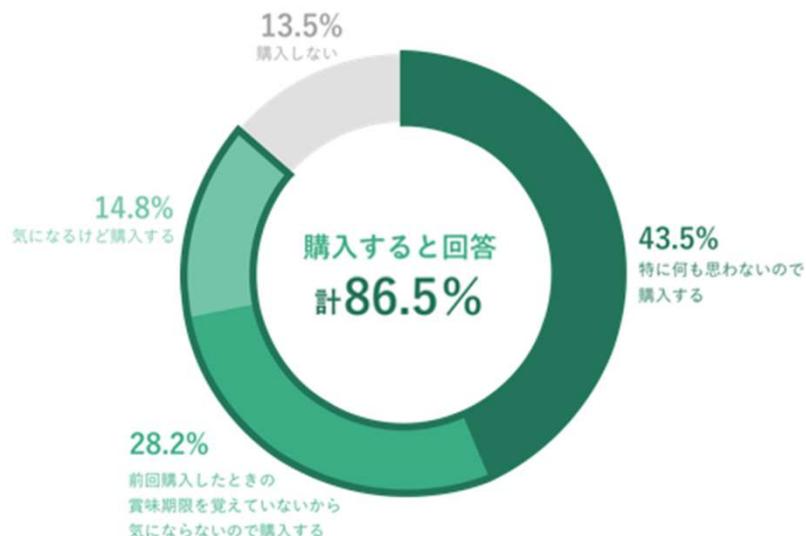


■新たな取り組みの検討内容

2. 納品時賞味期限の緩和（製造ロットの逆転）

Ⅲ. ペットボトル飲料の賞味期限の日付逆転が購買行動に与える影響

“前回購入商品の賞味期限が1年1ヶ月後”で、“賞味期限が1年後の同商品”を同じ店舗で見つけた場合



賞味期間が長いペットボトル飲料においては、1ヶ月程度の賞味期限の逆転があっても、86.5%の人が、商品を購入すると回答。



■新たな取り組みの検討内容

2. 納品時賞味期限の緩和（製造ロットの逆転）

- ◇活動趣旨に賛同いただいた流通企業様と、納品時の賞味期限逆転の運用テストを26年開始に向けて協議中

<運用テストの内容>

賞味期限逆転品をメーカーから配送 → 流通企業様のセンターに納入 → 店頭へ納入・陳列まで滞りなくできることを確認させていただく

今度も、この活動に興味を持っていただいた流通企業様と協議の上、運用テスト拡大を模索

ご清聴ありがとうございました